



2023年6月10日、11日、24日、25日の4日間、神奈川県立音楽堂にて第66回神奈川県合唱祭が開催されました。5月8日を以って新型コロナウイルスが『2類相当』から『5類感染症』となり、国の『基本的対処方針』が廃止、それに伴い全日本合唱連盟のガイドラインも廃止となったため、音楽堂のステージには指揮・伴奏者合わせて80人まで上がれるようになりました。出演団体は昨年よりも増えて120団体（初参加7団体）、2,000人以上が参加、また一般のお客様も1,000人近くご来場くださり、ホール全体が活気に溢れていました。

ほとんどの団体がマスクを外して演奏され、各ブロックで終始惜しめない拍手が鳴り響き、去年よりも更に一歩コロナ禍以前の合唱祭に近づいたようで、本当に嬉しい光景でした。

ただ感染者はまだ増加傾向にあり、安全対策として今回も更衣、リハーサル、客席で大声を発するじゃけん大会や全員合唱は行わないこととしました。

今回の合唱祭の特筆すべき点は、まず合唱祭2日目（11日）に講師の上田真樹先生の作品を演奏した団体に、上

田先生ご本人からその場で素敵で有難いワンポイント・アドバイスを頂けるコーナーを設けたこと、3日目（24日）に『ジュニア合同合唱』『課題曲講習会成果発表』が3年ぶりに復活したことです。ジュニア部会、小学校、中学校、高等学校の爽やかで熱い合同演奏（各団体・各校代表者による）に会場は感動の渦に包まれました。また同日に関東支部主催の『小学校指導者育成講習会』を開催、講師には後藤朋子先生をお招きし、他に類を見ない素晴らしい指導法をご教授いただきました。

そして例年協賛のカンロさんの『ボイス・ケアのど飴』に加え、新たに大塚製薬さんが加わり、人気商品『SOY JOY（ソイジョイ）』が参加者全員に配布され、大変喜ばれました。運営についてはいろいろと課題もありましたが、神奈川県連の理事やスタッフバンクの方々をはじめとする多くの方々のご協力により、素敵な合唱祭とすることができ、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

実行委員長 佐藤 美紀子 杉山 範雄

◆合唱祭講師

6月10日（土）松本 望（作曲家）

6月11日（日）上田 真樹（作曲家）

6月24日（土）上田 真樹（作曲家）

6月25日（日）信長 貴富（作曲家）

理事講師：岩本 達明、大沼 ケイ、福王寺 佑子、
真下 洋介、中原 勇希、今井 祐之

◆合唱講習会講師 6月24日（土）

小学校、中学校、高等学校：谷本 喜基（指揮者）

小学校指導者育成：後藤 朋子（小学校教諭）



松本 望先生



上田 真樹先生



信長 貴富先生

合唱講習会

6月24日(土)横浜市教育会館にて「Nコン課題曲講習会」ならびに「小学校指導者育成講習会」が開催されました。

「Nコン講習会」には小学校47名、中学校199名、高等学校137名が参加し、講師の谷本喜基先生の笑顔でぐんぐん引っ張っていくご指導により、参加者はのびのびと体を使って表現していました。講習会後は県立音楽堂に移動し、それぞれ55名ずつが舞台上で成果発表を行いました。特に高校生は織田祥代先生の伴奏にのせて、時には激しくまた時には優しく、様々な表現を使い分け、圧巻のハーモニーでした。

また「小学校指導者育成講習会」では、“自分から歌う子を育てる授業づくり”をテーマに、曲の理解や表現の工夫を自分で気付いて試していくこと、歌えて楽しかった経験を重ねていく中

で歌いたい気持ちを育てていく仕掛けなどを、スライドも交えてお話いただきました。後藤朋子先生の熱心なお話に引き込まれ、ステージの上で先生方も一緒に活動を体験し、これからの指導につながる技をたくさん体得されていました。

各団体の皆さんのご協力により、団体の入れ替えなどがとてもスムーズに進んだことに感謝でいっぱいです。各団体に分単位で移動していただくハードなスケジュールでしたので、スタッフも事前に何度もシミュレーションをして本番を迎えました。

来年度も神奈川県の子どもたちが、たくさんの歌声と笑顔に包まれて成長できますように、尽力していきたいと思っております。来年度の多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

合唱祭実行委員 熊谷 康子



織田 祥代先生

谷本 喜基先生



後藤 朋子先生



合唱祭実行委員

第46回全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2023年7月8日(土)9日(日)の両日、千葉県の市川市文化会館にて第46回全日本おかあさんコーラス関東支部大会が開催されました。昨年リニューアルされた大ホールで、神奈川県から出演した10団体が伸びやかな演奏を披露しました。神奈川県の出場団体の選考結果は以下の通りです。(出演順)

優秀賞：ボカ・グランデ、高津市民合唱団、アンサンブルMIMI、湘南はまゆう、ラ・カンパネラ

優良賞：女声合唱団「松」^{SHO}、緑フラウエンコール

大会賞：モア、マンマ・アルモニコ、ピナ・フィオーレ

全国大会には、優秀賞受賞団体から抽選で、ボカ・グランデ、高津市民合唱団、アンサンブルMIMI、湘南はまゆうが選ばれました。
(ラ・カンパネラは前年度全国大会出場につき抽選対象外)

第46回全日本おかあさんコーラス全国大会

8月26日(土)27日(日)に兵庫県のアクリエひめじにて第46回全日本おかあさんコーラス全国大会が開催されました。2021年にオープンしたばかりの素晴らしいホールに満席のお客様を迎え、全国からの見応え聴き応えのある演奏が披露されました。

神奈川県からは4団体が出場。選考結果は以下の通りです。(出演順)

ひまわり賞：アンサンブルMIMI、湘南はまゆう、高津市民合唱団

おかあさんコーラス賞：ボカ・グランデ

明るい歓声、カラフルな衣裳が「アクリエひめじ」に溢れ、かつての全国大会が甦りました！「ボカの皆さんのやさしい声に合う。一緒に奏でたい。」と指揮者名島先生が選曲された「ある日のうた」は、喜び、哀しみ、慈しみ…繊細な思いが込められた心に沁みる曲。私たちのハーモニーが満天の星が煌めくホールに響き渡り、胸が熱くなりました。観光も満喫！青空に白鷺が舞うような美しいお城を巡り、名物穴子料理を堪能…夏一番の幸せな体験でした。

後藤 厚子



ボカ・グランデ



アンサンブルMIMI

7度目の正直！？で掴んだ全国大会への切符。発声会場の公民館の方から「慶応に続きがんばって！」と温かいエールをいただき、いざ本番へ。団員みな晴れやかな表情で、今MIMIが表現できる精一杯を出しつくすことができたように思います。おかげさまでひまわり賞をいただくことができ、貴重な経験となったことに感謝の気持ちでいっぱいです。ここからがスタート！そんな気持ちで、また精進していきたいと思っています。

内海 由香

4年ぶりの全国大会。アクリエひめじは響きもよく、照明が星のように瞬いてとても美しいホール。直前になって振り付けや小道具を追加したのでちょっとハラハラしましたが、とても楽しく歌うことができました。噂に聞いていた関西のパフォーマンスは、見る人聴く人を楽しませてくれるサービス精神にあふれていて感服しました。おかあさんコーラスならではの和やかな雰囲気がとても心地よく幸せな時間でした。お世話になった皆さまに感謝いたします。

青山 道代



湘南はまゆう



高津市民合唱団

全員の声と心が一つになった全国大会
「うまくなったねえ」岩本先生のその一言に勇気づけられ、49名で初の全国大会に臨みました。ひまわり賞受賞を果たし、「合唱の成長に年齢的限界はない」を実感しました。混声合唱活動との両立は困難な面もありますが、今回の経験を糧に進化し続けたいと思います。岩本先生、永澤友衣先生、応援の団員に心から感謝いたします。定演、合唱祭等のイベント参加、海外演奏計画、わくわくドキドキが止まらない高津市民合唱団です！ 日比野 美幸

第66回神奈川県合唱コンクール

8月19日(土)、20日(日)の2日間、神奈川県立音楽堂にて、第66回神奈川県合唱コンクールが開催されました。コロナ規制が緩和され、更衣やリハーサルも組み込んだ従来のコンクール開催が戻ってきました。今年は全部で40団体(中学校7、高等学校21、大学職場一般10、シード2)のご参加をいただきありがとうございました。また2日間で延べ1,000人以上のお客様にご来場いただきました。昨年は人数制限を設けていた表彰式も、今年はたくさんの出演者の皆さんにご出席いただき、喜びの音が響く感動的な時間となりました。

とても暑さの厳しい2日間でしたが、皆さんの輝く笑顔や素晴らしい演奏に触れ、私たちが清々しい気持ちで運営にあたることができました。

次回も多くの皆さまにご参加いただけますよう、今後もより良い開催運営に励んでまいります。

最後に開催にあたり、審査員の先生方、参加団体の皆さま、スタッフやすべての関係者の皆さまに多大なるご協力をいただきましたことを改めましてここに感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

コンクール実行委員長 遠藤 智恵子

コンクール全体講評 8月20日(日) 大学職場一般部門 武田 雅博先生

お疲れさまでした。一般部門の方は中高の頃にコンクールに参加した経験がおりかもしれません。高校生の若々しい演奏も聞いてみると刺激になるのではと思います。表現者として丸くなりすぎていることもあるのでは。

音楽堂は演奏者と一体となれる素敵な関係を持てるホールですが、関東大会の大きいホールで演奏する場合は何か工夫が必要になると思います。

男声合唱がたくさんありましたが、どうしても声自慢になりがち。ピアノではサウンドがブレンドできるが、フォルテ以上になったらブレンドがどこまで保てるか考えてほしい。

声のブレンド、各合唱団の音色の特徴が感じられました。それぞれのオリジナリティのある音色は一般合唱団にしか求められないものです。発酵、熟成は限りなく腐敗に近いとも言えます。

炎暑の中、素敵なホールでマスクなしで歌える喜びは格別です。これから一杯という方もいるかもしれませんが、合唱を楽しめる幸せは儚いバランスの中で成り立っている得難い時間であることを、社会的な問題に対しても意識をして体に入れておいてほしいと思います。

審査員の先生方



武田 雅博 先生

古橋 富士雄 先生

金川 明裕 先生

第66回 神奈川県合唱コンクール 審査結果

2023年8月19日(土)				
部門	出演順	団体名	賞	推薦団体 関東大会
高校A	1	神奈川県立相模原中等教育学校コーラス部	銅賞	
	2	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	金賞	○
	3	神奈川県立相模原栄光高校合唱団	銅賞	
	4	県立多摩高等学校合唱部	銀賞	
	5	神奈川県立海老名高等学校合唱部	金賞	○
	6	法政大学第二中・高等学校 合唱部	奨励賞	
	7	神奈川県学園中学・高等学校女声合唱団	金賞	○
	8	県立生田高校グリークラブ	銅賞	
	9	洗足学園中学高等学校合唱部	銅賞	
	10	神奈川県立麻溝台高等学校合唱部	奨励賞	
	11	神奈川県立麻生総合高等学校合唱部	銅賞	
	12	鶴沼高等学校合唱部	銀賞	
	13	相模女子大学中学部高等部合唱部	銅賞	
	14	清泉女学院高等学校音楽部	金賞	○
	15	県立大船高校合唱部	奨励賞	
	16	青山学院横浜英和中学高等学校 コーラス部	銀賞	
	17	中央大学附属横浜中学校・高等学校 合唱部	銀賞	
	18	神奈川県立湘南台高等学校合唱部	奨励賞	
	19	慶應義塾湘南藤沢中・高等部合唱部	銅賞	
高校B	20	県立湘南高校合唱部	金賞	○
	21	桐光学園高等学校 合唱部	金賞	○

2023年8月20日(日)				
部門	出演順	団体名	賞	推薦団体 関東大会
中学同声	1	海老名市立大谷中学校 合唱部	銀賞	
	2	海老名市立今泉中学校	銀賞	
	3	厚木市立南毛利中学校 合唱部	銀賞	
	4	清泉女学院中学校音楽部	金賞	○
	5	横浜市立大綱中学校 合唱部	金賞	○
中学混声	6	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	金賞	○
	7	横浜市立緑が丘中学校・田奈中学校合唱部	銅賞	
大学ユース／室内／混声／同声	8	アンサンブル藤沢 【室声】	銀賞	
	9	富士通川崎合唱団 【混声】	銅賞	
	10	合唱団インテグラルズ 【大学ユース】	銀賞	
	11	横浜国立大学グリークラブ 【同声】	銅賞	
	12	湘南はまゆう 【同声】	金賞	○
	13	横浜国立大学女声合唱団 Dancing Dolphins 【大学ユース】	銀賞	
	14	かながわフリーダム・シンガーズ 【室声】	銅賞	
	15	Chor Crenata 【同声】	金賞	○
	16	Healing Friends 【同声】	金賞	○
	17	TAMA STAR SINGERS 【室声】	銀賞	
シード	18	湘南ユースクワイア 【大学ユース】		○
	19	La Pura Fuente 【同声】		○

〈2日間を通しての最優秀演奏団体〉

全日本合唱連盟理事長賞
神奈川県知事賞

清泉女学院高等学校音楽部



コンクール実行委員



指揮者の 『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は**中原勇希**先生です。

歌うことの起源

神奈川県や東京都で合唱指揮をしております、中原勇希と申します。合唱指揮コンクールの副賞で2018年にラトヴィアへ行き、肌で体験させていただいた「歌と踊りの祭典」のことなどをまとめた記事以来の寄稿となります。

先日とある合唱コンクールで他団体の演奏を聴いている中で、個人的に印象強い演奏に巡り会うことができました。その学校は指揮者だけでなくピアノ伴奏も全て学生だけで演奏する形でした。何が凄かったかといえば、指揮者のひたむきな姿とそれに応じる歌手との熱意のぶつかり合いが舞台上で繰り広げられていたことです。「今ここにいるメンバーと最高の音楽をするのだ!」と内に秘めた思いが溢れんばかりに大振りな指揮と、拙い発声ながらも指揮者の思いに応じて懸命に声を届ける歌手。その結果、聴いているこちらも手に汗握るような演奏となり、コンクールの場ではありましたが、客席が少し高揚したような雰囲気がありました。

いわば青春の謳歌とも言えるかもしれませんが、僕は「歌うことの起源」について連想しました。最近、『人間はなぜ歌うのか?』という書籍を読み進めているのですが、その中の記述の中で、自然界で生身の人間が獰猛な肉食獣から襲われずに生き残るために「大声で歌うこと」を手段として用いたと論じられています。かいつまむと、「(集団で)リズムに乗って大声で歌うことで特別に高揚した精神状態にする」、

「反復される肉体のリズム運動は集団のメンバーの強い連帯感を生み出す」のだとか。ここからは私見ですが、「集団で」、「リズムを揃えて」、「大きな声で歌う」は明らかに合唱という営みの中で内包されているものですので、合唱は特別な力を秘めた営みだと言えます。

歌うことに秘められた特別な力をその学生たちの演奏に気付かされました。歌うことを通じてより強く結束した(と思いたい)彼らには、歌う喜びを忘れず、歌い続けて欲しいなと願うばかりです。



「リレーエッセイ」リニューアルのお知らせ

2013年7月号から10年にわたって連載をいたしました、リレーエッセイ『指揮者のここだけの話』は今回をもって一旦終了とし、来年度から新企画としてリニューアルすることになりました。今までご愛読いただきましてありがとうございました。新企画も皆さまに楽しんでいただけますよう準備をしています。どうぞお楽しみに!

コンサートガイド

11/4 (土)	合唱団インテグラルズ 第3回演奏会 18:45～ 海老名市文化会館 小ホール 入場料:500円(全席自由) お問合せ:integral0407@gmail.com ポップス新編曲も初演します!その他男声合唱のいいところ取りです!ぜひご来場ください。
12/2 (土)	上大岡混声合唱団 第55回定期演奏会 14:00～ 鎌倉芸術館 小ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:鈴木 080-3471-5002 指揮:中村 皇 ピアノ:押川 涼子 Vesperae solennes de confessore(KV339) W.A.Mozart 「光と風をつれて」他
12/3 (日)	小田原男声合唱団 第52回定期演奏会 14:30～ 小田原三の丸ホール 大ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:杉本 090-4677-6315 http://www.odadan.org 指揮:辻 秀幸 村田 雅之 ピアノ:中根 希子「尾崎 喜八の詩から」多田 武彦作曲 「やさしい魚」新実 徳英作曲 他
12/17 (日)	Trinity 21st Concert 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:2,000円(全席自由) お問合せ:遠藤 090-2722-3538 茅ヶ崎に縁のある「湘南地方のわらべうた(吉田 孝古麿)」と「海と野のまつり(田頭 喜久彌)」指揮:平井 保 ピアノ:織田 祥代

《お詫び》

7月10日発行カノン122号コンサートガイドに以下のイベントの掲載漏れがありました。

＊10月7日(土)コール高森演奏会2023 50TH ANNIVERSARY 杜のホールはしもと

＊10月14日(土)ユーテヌ&アンドゥミ ジョイントコンサート 杜のホールはしもと

掲載申し込みをいただきましたコール・アンドゥミ様およびコール高森様には、ご迷惑をおかけいたしまして大変申し訳ございませんでした。県連事務所のメール送受信に不具合があり、連絡が行き届かないなどの不備がございましたので、連絡体制を再確認いたしました。今後このようなことのないよう十分注意してまいります。

～ 県連からのお知らせ ～

★第46回合唱フェスティバル ～踊る!?合唱フェスティバル!!～

開催日：2024年2月11日（日）

会 場：神奈川県立音楽堂

講 師：中村 明日香（多面体表現者〈パフォーマー〉、振付家）

募 集：30団体

申し込み期間：2023年10月1日（日）～2023年11月17日（金）

その他詳細は、県連HPにて合唱フェスティバル参加要項をご覧ください。

加盟/非加盟に関わらずご参加いただけます！パフォーマンスを伴って演奏することが得意な団体様は是非！また、体を揺らしながら歌うだけでも、ちょっとした動きを伴うだけでも構いません！耳だけでなく、見ても楽しい合唱フェスティバルにぜひご参加ください！
ご応募お待ちしております！

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載：1/8㊦ ¥2,500、1/4㊦ ¥5,000、1/2㊦ ¥10,000、1㊦ 半20,000 (未加盟団体は倍額となります)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものに付きましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。メ切り厳守をお願いします。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿メ切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定 (2023年11月～2024年9月)

- 第29回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 2023年 11月16日(木) 横浜みなとみらいホール 大ホール
- 第56回「メサイア」演奏会(主催:神奈川県立音楽堂) 12月10日(日) 神奈川県立音楽堂
- かながわユース・コーラルフェスト2023 12月17日(日) 清泉女学院 講堂
- 第26回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 2024年 1月20日(土)・21日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第46回神奈川県合唱フェスティバル 2月11日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第42回神奈川県ジュニア合唱祭 3月31日(日) 清泉女学院 講堂
- 第47回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 4月20日(土) 神奈川県立音楽堂
- 第67回神奈川県合唱祭(4日間) 6月 8日(土)・9日(日) 神奈川県立音楽堂
6月22日(土)・23日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第67回神奈川県合唱コンクール (第79回関東合唱コンクール神奈川県大会) 8月17日(土)・18日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第79回関東合唱コンクール(高等学校・中学校) (第77回全日本合唱コンクール関東支部大会) 9月21日(土) 高校・22日(日) 中学 神奈川県民ホール

編集
後記

6月の合唱祭で検温、消毒や舞台の場ミリがなくなり、8月のコンクールから更衣やリハーサルが復活しました。ようやく元に戻りつつありますが、世界を見回すと合唱を楽しめる環境というのは本当に恵まれたものなのだと感じます。感謝しつつ、体も心も大切に歌っていききたいですね。

編集長 青山 道代

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 岩本 達明 編集責任者 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局
〒231-0021 横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階
TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119
スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00~16:00
URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>
e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

